



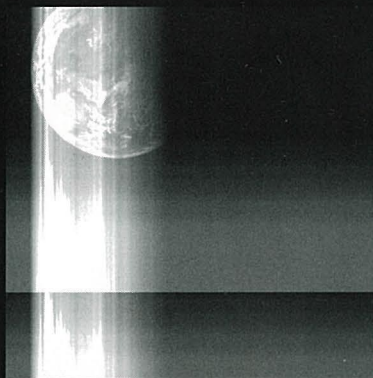
日本時間6月13日22時
51分ごろ、大気圏に突
入した「はやぶさ」。
(提供：JAXA)

ピックアップ

PickUp!

はやぶさ 帰還

「はやぶさ」により最後
に撮影された地球。
(提供：JAXA)



「はやぶさ」より分離され、無事にオ
ーストラリア・ウーメラ砂漠に着陸し
たカプセル。カプセルはチャーター機
で豪州から羽田空港に輸送され、分
析施設に搬入された。小惑星の砂な
どの有無がわかるまでには、数か月
かかる。
(提供：JAXA)



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の
小惑星探査機「はやぶさ」が日本時間
の6月13日、小惑星イトカワとの間
の往復約60億Kmの旅を終え、
2003年の打ち上げから7年ぶりに地
球に帰還しました。2005年にイトカ
ワに2回タッチダウンして、太陽系
ができた当時の状態を伝えると期待さ
れる小惑星のサンプル(砂)の回収に
チャレンジ。以後、地球との連絡が一
時途絶したりイオンエンジンに異常が
発生したりして何度も地球への帰還が
絶望視されましたが、なんとか地球に
戻ってきました。地球にカプセルを持
ち帰った「はやぶさ」は大気圏に再突
入した際にバラバラに燃え尽き、役目
を終えました。「はやぶさ」の帰還は
予定から3年遅れでしたが、月より
遠い天体に着陸して戻ってくるのは世
界初の快挙です。(川巻 獮)